

事前評価個表

整理番号	21
------	----

地域（地区）名	とうよ 東予	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	愛媛県	対象市町村	にいほまし 新居浜市ほか2市
事業実施期間	R2年度～R6年度（5年間）	事業実施主体	県、市、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、本県の東端に位置し、四国中央市、新居浜市及び西条市の3市から構成される。</p> <p>本地区の森林面積は85千haで、民有林面積は75千haであり、うち人工林面積は49千ha（人工林率65%）である。スギ・ヒノキの人工林構成齢級のピークがⅡ齢級を超えるなど資源の充実が進む一方、Ⅴ齢級以下の森林も1千haあり、下刈及び除伐等の保育作業も必要となっている。</p> <p>このため、適切な森林施業により、水源涵養や土砂流出防止機能等の森林の有する公益的機能の維持増進を行い、県民の安全で安心な生活の確保へ寄与することや、施業の集約化や路網の整備により、間伐材の搬出を促進し、木材の安定供給と二酸化炭素の吸収源対策へ寄与することが求められる。</p> <p>本地区における森林環境保全整備事業計画は、四国中央市、新居浜市及び西条市が策定している市町村森林整備計画の達成に資するものとして位置づけられ、施業の集約化・高効率作業による森林所有者の負担の少ない林業生産活動を通じ、森林の適正管理を促進し、森林の公益的機能の維持増進を図ることを目的としている。</p> <p>本事業では、本計画に基づき、施業地の集約化を行い、路網と高性能林業機械を組み合わせた低コスト・高効率な作業システムの導入を進め、計画的な間伐や主伐後の再造林等の森林整備を実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：2,376ha 人工造林、樹下植栽、下刈、除伐、保育間伐、間伐、森林作業道等</p> <p>路網整備：3,500m 林道開設</p> <p>総事業費：1,790,434千円（税抜き 1,627,668千円）</p>
費用便益分析結果	<p>B/C=3.59 （総便益（B）=9,001,681千円、総費用（C）=2,510,370千円）</p>
評価結果	<p>必要性：四国中央市、新居浜市及び西条市の森林状況に加えて、低コスト化に向けた路網整備の加速化、間伐を促進して県産木材の利用拡大や森林所有者の森林整備への意欲を高めることの緊急性に加え、水源涵養や土砂流出防止機能等の森林の有する公益的機能の維持増進等を図る為に、保育間伐や路網整備などの適切な森林整備を行うことが求められており、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用便益効果分析の結果から十分な効率性が認められるとともに、路網と高性能林業機械を組み合わせた低コスト・高効率な作業システムの導入を進めることによる計画的な間伐や主伐後の再造林等の森林整備の実施することとしており、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：森林組合等の林業事業者が中心となり、集約化施業・低コスト作業を推進し、森林所有者の森林整備に対する意欲を高め、適正管理の促進、公益的機能の一層の維持増進、県産木材の利活用の拡大等を図ることとしており、事業の有効性が認められる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

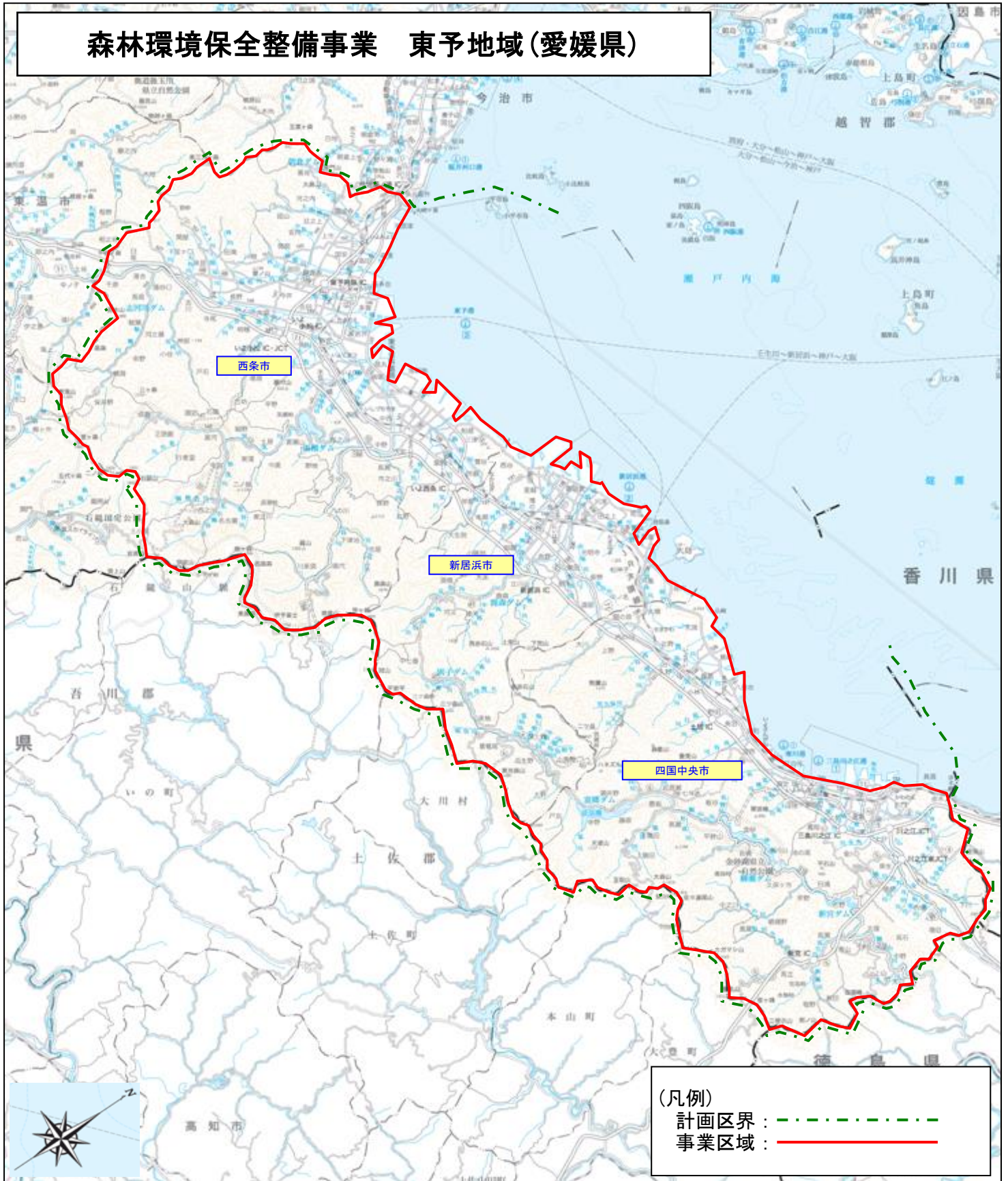
都道府県名：愛媛県

地域(地区)名：東予^{とうよ}

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	1,603,724	
	流域貯水便益	687,700	
	水質浄化便益	2,407,735	
山地保全便益	土砂流出防止便益	1,573,828	
環境保全便益	炭素固定便益	1,411,211	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	399,927	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	917,556	
総 便 益 (B)		9,001,681	
総 費 用 (C)		2,510,370	
費用便益比	$B \div C = \frac{9,001,681}{2,510,370} = 3.59$		

森林環境保全整備事業 東予地域(愛媛県)



(凡例)
計画区界 : - - - - -
事業区域 : _____



森林環境保全整備事業 東予地域(位置図)



重信・肱川広域流域

今治松山森林計画区

東予森林計画区

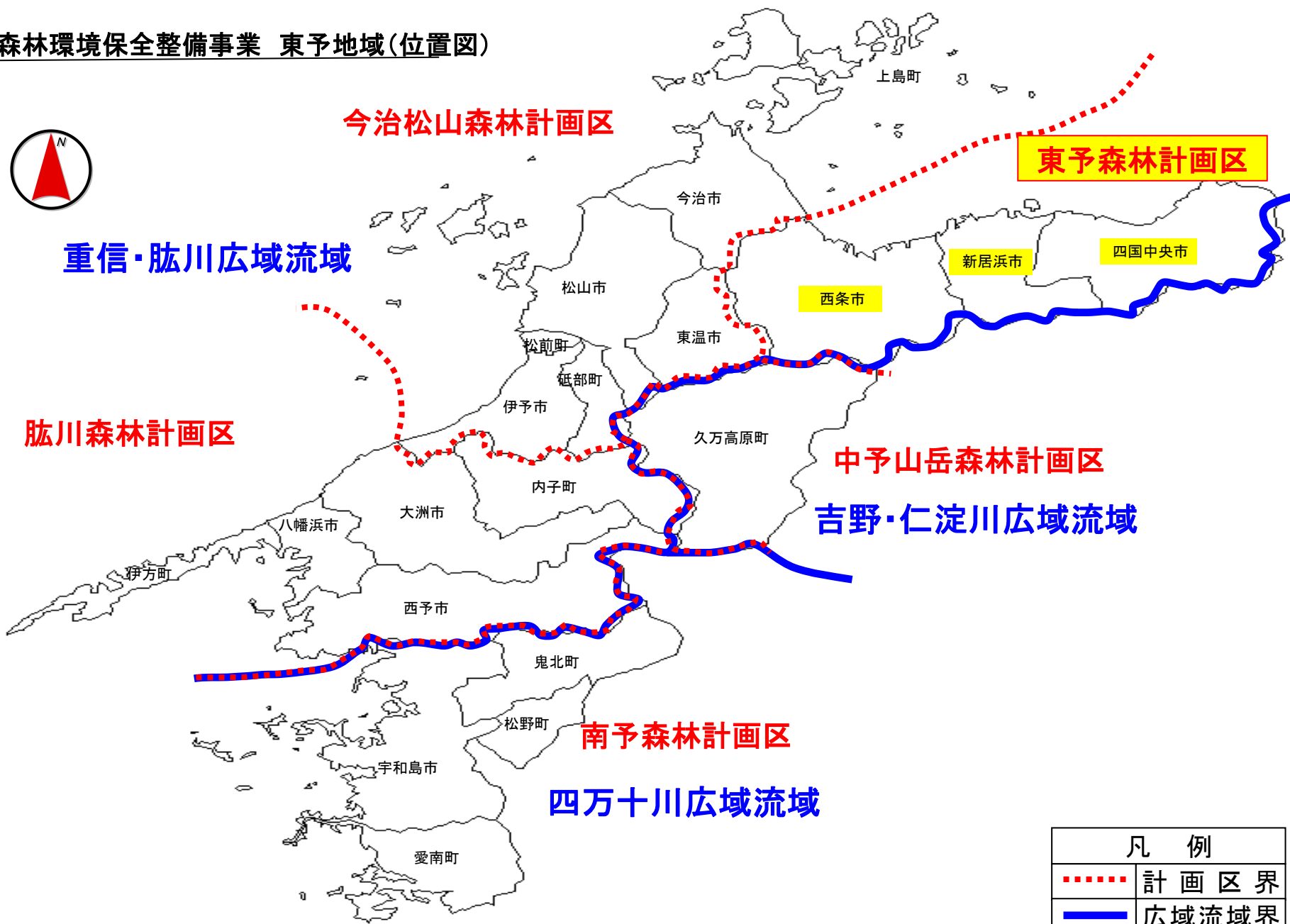
肱川森林計画区

中予山岳森林計画区

吉野・仁淀川広域流域

南予森林計画区

四万十川広域流域



凡 例	
.....	計 画 区 界
————	広 域 流 域 界